

# 令和二年度 入学試験（一般 第三回）問題（国語）

一次の文章を読んで、後の問【1～5】に答えなさい。

西洋を旅行してみると、いろんなところに鏡があるのに気づく。

たとえば劇場に入つて外套をあずけにゆく。そのとき、大きな劇場だと、うしろをふりむくと、大きな鏡がずらり並んでいるのがふつうで、その前でこの夜のために着飾つてやつてきた女性たちが口紅をひき直したり、髪に手をやつたりしている光景にぶつかる。

私は古い日本の生まれで人前で化粧するのは【ア】のないことだと教えられて育つたので、これに気がついたときは、こちらが恥ずかしい気がした。少し誇張すれば、見てはならぬものを見たような気がした。そうして西洋人には【＊】が欠けてるのかしらと思った。しかしそのうちわかった。男性たちはつれの女性が鏡の前に立ちどまると、さり気なくそばを離れ、見ないようにして待つてゐるのである。

「なるほど」と私は思った。かつての日本でも、夏の風呂上がり、素肌に浴衣がけで夕涼みをしている人がいても、みんなは見るともなく見ないともない様子で【(a)】いたものだ。そういう事情を知らずに、日本人は平氣で人前で肌をみせるといつたりしたら、それは、西洋人は人前で化粧して恥じないというのと同じことで、これは見るほうがわるいのだ。そうしないのが、生活の中で伝えられてきた「文明の伝統」というものなのだ。

「みんな見てやろう」というのとは逆に。

とはいへ、風呂上がりにせよ、化粧直しにせよ、それが人目を意識したものであることもたしかだ。ことに化粧の目的は見られることにある。

劇場でなくとも、西洋の家では玄関の近くに比較的大きい鏡のあることが珍しくない。たぶん外からきた人に、もう一度自分の姿をたしかめる機会を与えるためだろう。あるとき、友人の家につくと、ちょうど玄関の鏡の中の自分の姿に向かってほほえんでいる女の姿をみた。彼女は鏡に向かって自分の顔の角度を【(b)】ながら二度三度、くり返しほほえみを【イ】してみていた。「悪いことをした、こういう姿をみちゃって」と私は思った。しかしそのあとで、この家の主の友人から彼女に紹介されたとき、私はいたたまれない気がした。彼女は、鏡に向かつてしてたのとそつくり同じほほえみを私に送つてよこしたのだが、そのときの首の曲げ方まで、私にはもうわかつっていたとおりだったのだから。

翌日、私は友人からさんざんからかわれた。「お前、真赤になつてたぞ。お前もついに彼女の有名な微笑のとりことなつたのか」とかなんとか。だが、私は赤くなつたのは別の理由からだ。なぜか近ごろしきりとそれを思ひ出す。

私たちが「化粧」のために——精神と物質の両面で——他人に悪い印象を与える少しでもよく思われようとして費やす努力と時間と費用はばかにならない。だが、他人がそれをどう思うか、自分の姿が他人の目にどう映するか、それを正確に知ることはできないのではないか？

つまり、私たちは、自分では絶対にわかるはずのないもののために人生の大きな部分を費やしていることになります。もし、それが「人生」にほかならないのだとしたら、人生の価値とはなんだろう？

（吉田秀和『鏡の前』）

【1】 空欄⑦①に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 1 2】

- |   |   |       |       |       |       |       |
|---|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | ⑦ | ①あじわい | ②たしなみ | ③こころえ | ④つつしみ | ⑤おもむき |
| 2 | ④ | ①好演   | ②力演   | ③熱演   | ④独演   | ⑤実演   |

【2】 傍線部「様子で」に続く(a)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問 3】

- 3 ①接して      ②遇して      ③対して      ④流して      ⑤処して

【3】 傍線部「角度を」に続く(b)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問 4】

- 4 ①よせ      ②つけ      ③ませ      ④かえ      ⑤こね

【4】 空欄\*に該当する語を、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 5】

- 5 ①自尊心      ②虚栄心      ③羞恥心      ④平常心      ⑤向上心

【5】 筆者は波線部で、読者に何を伝えたかったのか。筆者の思いとしてふさわしいものを、①～⑤から選び、そ

の番号をマークしなさい。【解答欄は問 6】

- 6  
①人生には、どんなに努力しても、結局は理解できないことが多いのだ、という思い。  
②理解できないことはある、ということをふまえて努力し続けることも人生の価値だ、という思い。  
③結果的に理解できなかつたとしても、努力し続けること 자체が大切だ、という思い。  
④一見、理解できていないようでいて、実は人生の本質に迫っていることがある、という思い。  
⑤いつか必ず理解できる、と信じて努力することこそが、人生の価値に他ならない、という思い。

二次の問【6】～【10】の空欄に入る語として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【6】「結局、彼らは、同じ穴の□ということだ。」【解答欄は問【7】】

【7】①狸 ②貉 ③狐 ④鼠 ⑤鼬

【7】「この種のトラブルは、枚挙に□がない。」【解答欄は問【8】】

【8】①蹄 ②眷 ③鞴 ④遑 ⑤轡

【8】「我が校は、二年後、男女共学へと、大きく□を切る。」【解答欄は問【9】】

【9】①舵 ②袖 ③堰 ④空 ⑤綱

【9】「辺りは、すっかり、夜の□に包まれた。」【解答欄は問【10】】

【10】①鼈 ②葛 ③帳 ④証 ⑤霞

【10】「これらのグッズは、ファンにとっては、まさに垂涎の□だ。」【解答欄は問【11】】

【11】①程 ②龜 ③様 ④壺 ⑤的

【11】「一寸の虫にも□分の魂」【解答欄は問【12】】

【12】①一 ②三 ③四 ④五 ⑤六

三次の問【11】～【15】のことわざの空欄の数字として、最もふさわしいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【11】「一寸の虫にも□分の魂」【解答欄は問【12】】

【12】①一 ②三 ③四 ④八 ⑤十

【12】「一寸の虫に□尺の身を亡ぼす」【解答欄は問【13】】

【13】①一 ②四 ③六 ④八 ⑤十

【13】「三寸の舌に□尺の身を亡ぼす」【解答欄は問【14】】

【14】①一 ②三 ③五 ④七 ⑤九

【14】「明日の百より今日の□」【解答欄は問【15】】

【15】①十 ②二十 ③五十 ④七十 ⑤百

【15】「百里を行く者は□里を半ばとす」【解答欄は問【16】】

【16】①三十 ②五十 ③七十 ④九十 ⑤百

四 次の文章を読んで、後の問【16】～【21】に答えなさい。

父の電話嫌いはすでに有名になっていた。

「わしの用事よりは君達の用事の方が多い、電話をひけば、君達がよけい便利になつても、わしには関係ないよ」と、言つていた。とは言うものの、□＊に電話して、何か珍しいものはないか、一日早く原稿が出来たから、お使いの人取りに来てほしい、銀行のおじさんに一寸来るよう。その度毎に私は、十円玉を五つほど持つて、三分ほど先の学校の傍まで行く。父の用事が父の言うように、全く無い訳では決してなかつた。

父は一生の間に二度しか、電話で話したことはなかつた。その二度とも私とだけで、又偶然にも病院の中とであつた。

昭和十七年の四月、最初の胃潰瘍で浅草の同愛病院に入院した時、東京は初めての空襲警報に□Ⓐはしたもの、何の被害もなくすぐにカイジヨになつた。私は気がかりになり病院に電話をした。いかがですか、なんともなかつたですかといふ私に、

「屋上にあがつて、飛行機を見ていたよ」

と、この時は、言葉らしいものが流れて來た。

二度目は日比谷の胃腸病院に、胃潰瘍も大分悪化して入院中であつた。毎日、何時に行くと約束をしていたが、何かの用事のために二時間ほど、遅くなつてしまつた。時間になつても来ない私を、待つてゐる父が気になり、唯遅くなるということだけを電話した。つきそいの看護婦を呼んだのだが、暫く待つていてもモシモシという声は聞えない。鈍い受話器のする音はするものの、私の耳に伝わつて來たものは、ウォー、ウン、こんな声であつて言葉ではなかつた。私はとつさに父とはわかつたものの、私に喋らせてはいるばかりで、ひとことも父の言葉らしいものは聞えては來なかつた。

退院間際であつたから、病室から出て歩いてはうなずけるが、まさか御本人の父が直接出て來るとは思ひもしなかつた。

唯、ウォー、ウン、だけでは、電話ではなしたということには、なりはしない。

電話の声もそうであるが、マイクを通す父の声は、普段の話声と異なつて、金沢の＊＊が実にはつきりと出ていた。

七十二年的一生の間に、二度しか電話で声を送つたことのないという人は、おそらく父のほかに、余りいなうであろう。

二月にしてはあつたかい日であつた。紅梅も□①咲いて、霜立ちのフカフカしている土面に、こまかいひとひらひとつひらの花びらが散つていた。

ひる下り、ある雑誌の方が現われた。その仕事を父は、それは僕よりもっと頭のよい人がやる仕事だといって、父にしては珍しく強硬に断つた。

私は父の身体の状態を考えて、ひとつでも多くの仕事をしてほしかつた。その方もありもつと頭のよい人がやる仕事だといって、はいるものの、それ以上は父に□④、話題は自然と雑談に移つていつた。

突然、全く突然に電話の話が出た。

「朝子、電話というものは、一体いくらかかるのだね。すぐに値段を調べておきなさい」

なにがこのように急激に、電話という言葉を父の口より出させたのか、私にはとつさには解らなかつた。「編集の人やごく親しい人は、わしが何故に電話をひかないか、その訳はよく知つてゐるが、隣近所の人はそうは思つまい。ひどいケチン坊と思つてゐるだろ。少しは名前が世に知られ、女中さんも二人いて、その上にご近所の電話を借り歩くことは、ケチ以外にないよ。もしこれが、大臣とか、何とか官房長官という肩書のある男なら、ケチもケチだと新聞でたたかれるだろ」

父の考えつく、父らしい面白い理屈であった。事実お隣と前のお家で急用な時だけ、父には内緒にして電話をハイシャクしていたが、いつかはそれを父が知り、私は叱られていた。

突如として起つた電話の話は、その後一週間はとだえていた。私は積極的に電話の話を、父にはしなかつた。

父はあのように言いはしたが、私から催促する必要はなかつた。それは気の済むまで父が考えて、納得すれば、父の方から再び言い出す筈である。今までこのようなことは、いくつかあつた。だからずるいのは私かもしないが、黙つていた方が、万事には好都合であつた。

お風呂からあがつて着物を着かかっている父は、ぎこちない手つきで、着物を動かしていた。もうこのころはすでに、右手の自由は失われつつあつたのだつた。

「君、電話は申し込んできたかね、何時つくのかね」

又もや突然であったので、私は驚いた。

「何もあれからおっしゃらなかつたから、まだですが……」

「すぐに明日行つて申し込んで来給え」

この日は二月二十五日の夕方であつた。

翌二十六日、私は電話局に行つた。係の人は、お宅はこれで何本目ですかと、聞いた。はじめて申し込むのだという私の顔を見て、呆れたようであつた。その後四日目に、父は入院した。

この上ない親切と好意を示してくれた電話局の人達は、父の入院というのを聞いて、お金を納めたあくる日に、早速にとりつけてくれた。

私は父のベッドの傍に立つて、今覚えたばかりの家の電話番号を、大きい声で言つた。父は、

「今度、オデイト（女同士でも誰かと町で会うことを、家では広い意味で、オデイトと言つていた）するときに、七七一……番に、電話をかけて下さいといえば、よいのだね……」

と言つた。しかしその次の言葉は、父は **(1)** しまつてゐた。わしは、うまくかけられない、ということばを。「君、しもの茶の間の時計のそばの柱に、つけた方がいいよ」

柱につける、私にはピンとわからなかつた。父は町の中の何処の店にでも置いてある電話を、自分には全く何の必要もないから、頭のどこにもはいっていなかつたらしい。十年もの昔の柱にとりつける電話を、電話の形としてそれ以外のことは、少しも考えてはいなかつた。

病院生活二十六日で、父は再び家には帰つて来なかつた。私の最も気にしていたベルの音を、小さくしてもらつたことも、今となると哀しい、ひとつ私の心配りにすぎなかつた。とうとう父は家の電話、自分の電話のベルを、一度も聞かなかつたのである。

（室生朝子『父と電話』）

【16】傍線部**(A)****(B)**の漢字の正しい読みを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問**17**～**18**】

- [17]** 空欄**(7)**～**(1)**に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問**19**～**22**】
- |                            |                 |                 |                  |                 |
|----------------------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|
| <b>19</b> <b>(A)</b> ①べにばい | <b>(2)</b> こううめ | <b>(3)</b> べにうめ | <b>(4)</b> こうばい  | <b>(5)</b> あかうめ |
| <b>18</b> <b>(B)</b> ①ばんじ  | <b>(2)</b> まんごと | <b>(3)</b> ばんごと | <b>(4)</b> よろすごと | <b>(5)</b> まんじ  |

【18】二重傍線部**a****b**の漢字として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問**23**～**24**】

- [23] (a)** ①解徐      ②解序      ③解如      ④解除      ⑤解助  
**[24] (b)** ①杯借      ②配借      ③俳借      ④背借      ⑤拌借

【19】 空欄 \*・\*\* に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 25 26】

- 25 \*  
①古着屋  
②札差屋  
③両替屋  
④周旋屋  
⑤骨董屋  
  
26 \*\*  
①テンポ  
②アクセント  
③リズム  
④イメージ  
⑤ニュアンス

【20】 筆者の父としてふさわしい人物を、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 27】

27  
①室生紅葉 ②室生逍遙 ③室生犀星  
④室生四迷 ⑤室生鏡花

【21】 筆者は波線部で、読者に何を伝えたかったのか。筆者の思いを五十字で述べなさい。

【解答欄は記述解答用紙問 28】

28 記述解答用紙へ